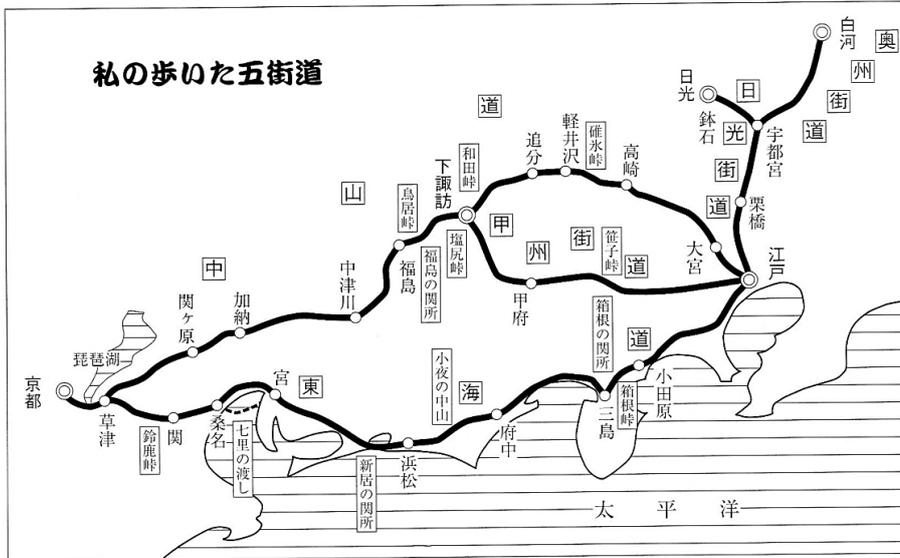


私の歩いた五街道（中山道編）



- 東海道五十三次
(一二六里六丁)
492.1km
- 中山道六十九次
(一三五里三二丁)
533.9km
- 甲州街道(日本橋～下諏訪)
208.0km
- 日光街道(日本橋～日光)
141.6km
- 奥州街道(日本橋～白河)
199.7km
(うち日本橋～宇都宮
114.6km)

- 1601(慶長6)年 東海道に伝馬制度制定
- 1602(〃 7)年 中山道に〃 制定
- 1603(〃 8)年 日本橋初代架橋
- 1635(寛永12)年 武家諸法度を改定し、参観交代を規定
- 1646(正保3)年 朝廷 家光の要請により日光例幣使を派遣
- 1716(正徳6)年 中仙道を「中山道」に改める
- 1862(文久2)年 参観交代制度が緩和される

三条大橋	11.8km	逢坂山	・高山彦九郎 像
大津			・琵琶湖疏水 ・粟田口刑場跡 ・逢坂山関址 ・蟬丸神社上社、下社
草津	14.4	瀬田の唐橋	・「此附近露国皇太子遭難之地」碑
守山			・義仲寺(木曾義仲 墓、芭蕉 墓)「木曾殿と背中合わせの寒さかな」又玄句碑 「旅に病て夢は枯野をかけ廻る」芭蕉句碑
武佐	5.9		・草津宿本陣
			・草津追分 「右東海道 いせみち 左中仙道 美のち」道標(文化十三年建立)
	13.7		・甲山古墳
			・鏡の立場 ・「義経元服の池」碑
	9.8		・近江商人発祥地 (てんびんの里 五個荘町)

エチガワ 愛知川	
7.9	
高宮	
5.9	
鳥居本	
4.0	摺針峠
番場	
4.0	
醒井	
5.8	
柏原	
4.0	
今須	
3.9	
関ヶ原	
5.5	
垂井	
5.2	
赤坂	
8.7	揖斐川
美江寺	
4.7	
ゴウド 河渡	
5.9	長良川
加納	
16.8	各務原
鵜沼	
7.9	日本ライン
太田	
7.8	木曾川
伏見	
3.9	
御嵩	
11.8	謡坂
細久手	
5.9	琵琶峠
オオクテ 大湫	
13.8	十三峠
大井	
7.8	
中津川	
5.9	
落合	
	十曲峠

・朝鮮人街道(彦根道)合流 「右彦根道、左中山道 京 いせ」道標(文政十年建立)

・忠太郎地蔵・・・長谷川 伸 戯曲『瞼の母』
「ところは江州阪田の郡、醒ヶ井から南へ一里・・・」

・宿場の中を流れる、梅花藻の咲く清流(地蔵川)

・「近江美濃両国境寝物語 近江国長久寺村」榜示杭
・「舊蹟 寝物語 美濃國不破郡今須村」石柱
・常盤御前と乳母千種の墓と言われる五輪塔 2基
・不破の関址 「秋風や藪も畠も不破の関」芭蕉句碑
・関ヶ原古戦場

・垂井の追分 「右東海道 大垣みち、左木曾海道 たにくみち」道標(宝永六年建立)
・「青墓の よしたけあん」説明板(義経伝説の地)

・赤坂港跡
・小簾紅園(和宮記念公園)
「おちてゆく 身と知りながら もみじ葉の 人なつかしく こがれこそすれ」

・本陣跡に和宮の歌碑 「遠さかる都と知れば旅衣 一夜の宿も立うかりけり」

・犬山城 遠望

・太田代官所跡(現太田小学校)・・・坪内逍遙誕生地
・太田の渡し 「木曾のかけはし太田の渡し碓氷峠がなくばよい」

・「是与里東尾州領」榜示杭

・いつみ式部廟所

・西行塚

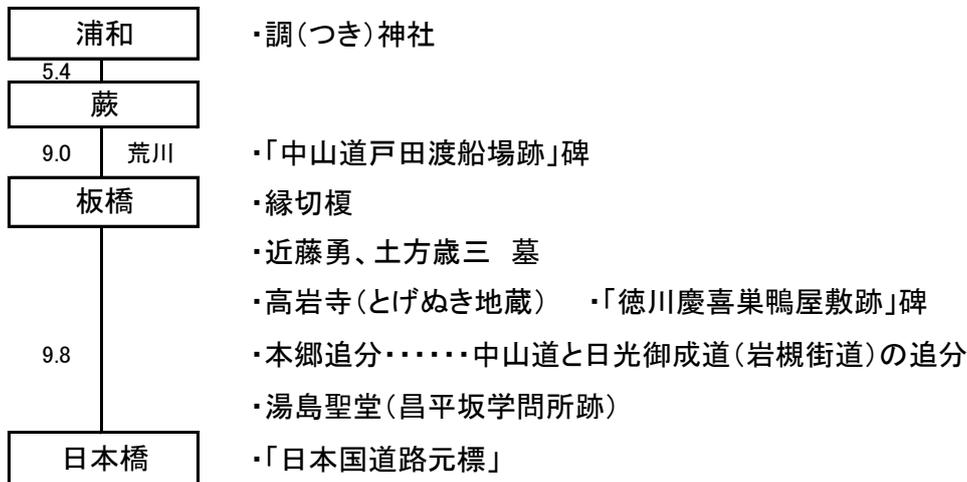
・尾州白木改番所跡

木曾路はすべて山の中である。あるところは岨づたいに行く崖の道であり、あるところは数十間の深さに臨む木曾川の岸であり、あるところは山の尾をめぐる谷の入口である。一筋の街道はこの深い森林地帯を貫いていた。
東ざかいの桜沢から、西の十曲峠まで、木曾十一宿はこの街道に添うて、二十二里余りに亙る長い溪谷の間に散在していた。
島崎藤村著『夜明け前』より

4.6	新茶屋	<ul style="list-style-type: none"> ・「信濃美濃 国境」碑 ・「是より北 木曾路」 藤村揮毫の碑 ・「送られつ送りつ果は木曾の穂」 芭蕉句碑
	馬籠	<ul style="list-style-type: none"> ・「桑の実の木曾路出づれば穂麦かな」 子規句碑 ・島崎正樹顕彰碑
7.8	馬籠峠	<ul style="list-style-type: none"> ・藤村記念館(＝馬籠宿本陣) ・「渋皮のむけし女は見えねども 栗のこはめしここ乃名物」 十返舎一九歌碑 ・峠之御頭頌徳碑
	妻籠	<ul style="list-style-type: none"> ・一石栃白木改番所跡 (木曾五木 : ヒノキ、ヒバ、サワラ、コウヤマキ、ネズコ)
5.6		<ul style="list-style-type: none"> ・重要伝統的建造物群保存地区
	三留野	
10.1		
	野尻	<ul style="list-style-type: none"> ・木曾駒ヶ岳 遠望
7.2		
	須原	
12.8	寢覚ノ床	<ul style="list-style-type: none"> ・小野の滝
	上松	<ul style="list-style-type: none"> ・尾張藩上松材木役所御陣屋跡 ・木曾の棧 ・御嶽山遥拝所
9.5		
	福島	<ul style="list-style-type: none"> ・福島関所跡 ・山村代官屋敷跡 ・中山道中間点の表示板(木曾郡日義村)
7.0		
	宮ノ越	<ul style="list-style-type: none"> ・巴が淵
7.5		
	藪原	<ul style="list-style-type: none"> ・「お六櫛」の里
5.4	鳥居峠	<ul style="list-style-type: none"> ・御嶽山遥拝所 「雲雀よりうへにやすらふ峠かな」 芭蕉句碑
	奈良井	<ul style="list-style-type: none"> ・重要伝統的建造物群保存地区
7.3	間の宿 平沢	<ul style="list-style-type: none"> ・「木曾漆」の里
	贅川 ニエカワ	<ul style="list-style-type: none"> ・贅川関所跡
7.8		<ul style="list-style-type: none"> ・「是より南 木曾路」碑
	本山	
3.3		
	洗馬 セバ	<ul style="list-style-type: none"> ・洗馬の追分「右中山道、左北国往還 善光寺道」道標
7.2	桔梗ヶ原	
	塩尻	
11.4	塩尻峠	
	下諏訪	<ul style="list-style-type: none"> ・魁塚……赤報隊 相楽総三以下8名の墓碑 ・浪人塚……水戸天狗党 和田峠の戦の戦死者墓地 ・樋橋の立場 ・西餅屋 ・東餅屋 ・和田古峠 (御嶽山遥拝所)
21.6	和田峠	
	和田	
7.9		
	長久保	
5.7	笠取峠	<ul style="list-style-type: none"> ・笠取峠の松並木 ・浅間山 遠望
	芦田	<ul style="list-style-type: none"> ・街道左右に地酒の醸造元、 牧水の歌碑3首

4.8	間の宿 茂田井	「よき酒と人のいふなる御園竹 われもけふ飲みつよしと思へり」 「しらたまの齒にしみとほる秋の夜の 酒はしづかに飲むべかりけり」 「ひとの世にたのしみ多し 然れども酒なしにしてなにのたのしみ」
望月		
3.5		
八幡		
2.9	千曲川	
塩名田		
5.1		
岩村田		
4.7		
小田井		
5.0		
追分		・中山道、北国街道の分去れ ^{フカザ} …常夜燈の台座に「是与里左伊勢」
4.3		
沓掛		
4.5		
軽井沢		
11.6	碓氷峠	・熊野皇大神社 ・「上信國境」標柱
坂本		
9.5		・碓氷関所跡
松井田		
9.6		
安中		・安中 原市の杉並木
3.3		
板鼻		
7.2	烏川	
高崎		
6.0		
倉賀野		・倉賀野の追分 常夜燈と「従是 右江戸 左日光道」道標(文化十一年建立) =中山道と日光例幣使街道の追分
5.9	烏川	
新町		
7.9	神流川 ^{カシナ}	・神流川古戦場跡
本庄		
10.5		
深谷		・「従是南忍領」標柱(安永九年建立)
10.8		
熊谷		
16.4		
鴻巣		
7.2		
桶川		
3.7		
上尾		
7.9		
大宮		・「武蔵國一宮」石柱と氷川神社一の鳥居
5.0		

〈幕府直轄の街道〉
五街道の他に
・日光例幣使街道(倉賀野～今市)
・美濃路(垂井～東海道 宮)
・本坂道(別名 姫街道、見付～御油)
・水戸・佐倉街道の一部



(主要参考図書)

- ・「街道雑記 ―私の歩いた五街道―」 佐藤猛夫 文芸社
- ・「中山道を歩く 上・下」 横山正治・安斎達雄 学研M文庫
- ・「中山道を歩く」 山と溪谷社編
- ・「広重・英泉の木曾街道六拾九次旅景色」 堀 晃明 人文社
- ・「夜明け前」 島崎藤村 岩波文庫



高山彦九郎 像



草津宿本陣



草津宿本陣の関札



いつみ式部廟所



「是より北 木曾路」 藤村揮毫の碑



魁塚



笠取峠の松並木



街道左右に地酒の醸造元（間の宿「茂田井」）



中山道、北国街道の分去れ



調(つき)神社「浦和宿」



縁切榎「板橋宿」



湯島聖堂(昌平坂学問所跡)

